

合同会議実施結果の報告

去る平成20年5月30日(金), 群馬大学保健学科は, 前橋商工会議所において, 「チームワーク実習」に関する指導教員と実習受け入れ施設の担当者との公開合同会議を持ちました.

実習受け入れ施設から34名, 本学からは53名, 一般から2名の計89名の参加を得, 実習のあり方についての意見交換が熱心に行われました. 大学からは, 指導に当たる教員の教育目標や抱負が語られ, 施設側からは, それぞれの施設における実習の展開の仕方についての報告がありました.

教員側からは, 本年度からの新しい試みである, 医学科学生の参加と, 模擬症例を通じた学習について, 「模擬症例を使うことで, 授業の展開がスムーズになった」「医学科が加わることによって問題解決の議論が深くなった」などの意見が出されました. 施設側からは, 「あるがままの現状から, 現場における意思決定のプロセスをみてほしい」「学生の実習が, 職場の刺激になっている」「学生に質問されることによって, 勉強になる」という意見とともに「他職種にも関心を持って」「学生から質問が出ない」などの学生や大学側への注文が出されました. 学生からも, 「自主的に進める勉強を体験して, おもしろかった」「模擬症例を通して, 自分の職業の具体的なイメージを持つことができた」などの感想が聞かれました.

これらの意見を聞いて, 教員一同「チームワーク実習」の教育内容が, より「チームによる問題解決の方法の学習」になるように努力すべきであるとの気持ちを新たにしました. 本公開合同会議を実施したことにより, 教員ならびに実習受け入れ施設の担当者の双方が, 「チームワーク実習の意義」についてより一層の理解を深めることができました.